

はばたき



令和3年10月18日(月)
国立市立国立第二小学校
国立市立国立第四小学校
国立市立国立第八小学校
特別支援教室 はばたき
学級通信 NO. 5



秋が深まり、朝夕の空気が一段と冷たくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

10月2日には体育学習発表会があり、子供たちはそれぞれの思い出を話してくれました。私たちも、体育学習発表会を通して成長した子供を見て、驚かされるとともに、大きな感動を覚えました。今後も様々な行事が続いていきますが、子供たちが自分の力を発揮できるよう指導・支援してまいります。



9・10月の小集団活動のお知らせ

9月の小集団活動は、「自己理解」をテーマに学習しました。児童の実態に応じ、4～6年生は、「なりたい自分に近づくために」、1～3年生は、「いろいろなことに挑戦し、自分の好き嫌いに気付こう」というめあてで取り組みました。今回は、それぞれどのような学習活動を行ったのかを紹介していきます。

4～6年生

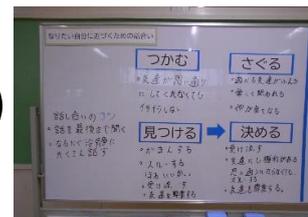
2学期が始まり、1年の折り返し地点まで来ました。半年後には、進級・卒業し、1つ上の学年・中学生になります。そこで、自分がなりたい上級生・中学生像を担当教員と一緒に考え、その考えを友達と共有し、どのようにしたらなりたい自分に近づけるかを話し合いました。

話し合い活動では、友達の「なりたい自分」について親身になって考え、様々な考えや意見を出す様子が見られました。話し合ったことを、学校や生活の場面で実践し、「なりたい自分」に近づいてほしいと思います。

僕は〇〇が
いいと思います。



△△するのは
どうですか。



1～3年生

様々な活動に挑戦していき、自分の好き・嫌い、得意・不得意を見つけました。下の写真は、ペアで協力し、同じ絵を合わせていく「びっくり絵合わせ」という活動です。めくるカードを言葉で正確に伝えることや、指示されたカードの位置を覚えることにチャレンジしました。

伝えることも、位置を覚えることも得意だったという子もいれば、どちらかが難しかったという子もいました。自分の好きなこと・嫌いなこと、得意なこと・苦手なことを知り、それは人によって違うことに気づくことができました。

上から〇番目
右から△番目の
カードをめくってください。



はい。わかりました。

どきどき・・・

個別学習の紹介

個別学習では、担当の教員と1対1で学習を行っています。児童一人一人に合わせた課題を設定することで、児童の自立を図れるようにしています。今回は、「感覚統合遊び」を紹介します。ぜひ、お子様と取り組んでみてください。

● 感覚統合遊びとは

感覚統合遊びとは、遊びを通して、「触覚」「平衡感覚」「固有感覚」の3つの感覚を育てていく活動です。この感覚をバランスよく育てることにより、集中する力や自己コントロールする力、ボディイメージなど、学習や運動をする土台となる力を育てることができます。

● 家でも取り組める 感覚統合遊び

(1) ゆらゆらバランスボール

遊び方

- ① バランスボールの上につ伏せに座ります。
- ② 大人は、子供の背中を押します。



ポイント①
ボールの反発感を
感じられるようにします。

ポイント②
手と足を浮かせよう。
怖かったら、はじめは
足やひざをついた状
態でも良いです。

こんな力が身につく！

- ・バランスボールによって気持ちが落ち着き、貧乏ゆすりが少なくなります。
- ・触覚が過敏で他人から触られるのが苦手な子は、敏感さを軽減できます。
- ・平衡感覚を養うことができます。

その他にも

・両手をつく



・腰をもって前後にゆらゆら



・仰向けに寝る



(2) タオルでキャッチボール

遊び方

- ① タオルを結び、ボール状にします。
- ② キャッチボールをします。

・緩い結び目を作る。



・タオルの端と端をもう一度結ぶ。



こんな力が身につく！

- ・ボールを作る作業は、手先の動きを調整する練習になります。
- ・動くボールを目で追ったり、距離感を把握したりする視空間認知を高めます。

引用・参考文献：『発達の子の学校・家庭で楽しくできる感覚統合あそび』 監 川上康則

お知らせ

6年生の保護者の方へ

来年度、市内中学校に進学予定で、中学校でも継続して支援を希望されるかどうかについて、面談でご意向を伺い、確認させていただきます。

後日、その確認書類をお渡しします。詳細については、改めてご連絡いたします。